

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【自然科学系】

授業で取り扱った内容についてのレポートの内容、顕微鏡観察時のスケッチ、グループ討議の内容と発表内容で成績評価を行った。

出席、レポート、試験結果を総合的に判断した。

講義を振り返ってのレポート課題を課し、これまでの学び方と本講義を通しての学びの自身の変化を今一度よく観察し、どのような変化があり、どの程度持続可能な変化なのか、という報告ができたか否かで評価した。自分の学びを冷静かつ的確に観察できていると思われるレポートに高い点を与えた。

授業中の質問に対する応答とレポートによって成績を評価した。実際にどれだけ自分で調べたり考えたりしたかに重きをおいた。

講義への取り組みと学習した内容の理解度を測る。文系向けの数学の講義なので、講義への取り組みを8割、テストを2割とした。

グループの発表内容と他のグループの発表について、その内容の提出プリントに基づき成績を付けた。

授業で指示した課題レポートによる。  
指示した内容をひとつおりにやれば普通、それ以上の内容や工夫があればなおよい。

この授業では、評定項目(科学的にを認識する能力、個別の調査に基づいて調べた内容を他人にわかりやすく伝える能力、報告書作成における論理的な文章作成能力)をそれぞれ評価し、すべてを合計して評点とした。

毎回の授業で、自署による出欠確認をしており、その出席率を評価の5割に充てている。また、上で述べたペットボトルロケットやピンホールカメラの出来具合と、期末課題の評価を合わせて残り5割分の成績とした。